

① 学校に対する提言

体制に関すること

項目

- ◆ 養護教諭と S C の連携強化
- ◆ 自殺予防に向けた取り組みの充実化

内容

- ・ 学校生活アンケートの記載内容に関する事後対応に課題、養護教諭と S C の連携を一層強化する必要あり
- ・ S C 常駐が望ましい ・ ストレスチェックの実施
- ・ 生徒の自殺予防のために必要な取り組みを行っていく

※
S C :
スクールカウンセラー
S S W :
スクールソーシャルワーカー

課題

- ・ 養護教諭への連絡体制が不十分
- ・ (当該生徒の) 体調不良の継続を精神的な葛藤・軋轢と結び付けられなかった
- ・ S C への相談しやすい環境を構築できていなかった

方向性及び具体の取り組み（案）

相談体制を充実させ、 校内の組織の強化を進める

速やかに実施 or 実施済み

- ・ いじめ・生活アンケートの頻回実施
- ・ 生徒・保護者向け報告相談アプリの導入
- ・ 面談週間を毎学期に設定
- ・ 定期的なストレスチェック
- ・ 柏市自殺予防対策連絡会議・柏市いじめ問題対策連絡協議会との連携

予算化後に実施（一定の時間を要する取組）

- ・ S C の常駐，部活顧問，校内会議参加，情報共有，報告・提案
- ・ S S W の配置（週 2）
- ・ S C，S S W，管理職，養護教諭等の連携強化
- ・ 相談室の利便性向上（移転整備）
- ・ 校内の死角に人感センサー等を設置
- ・ I C カードタッチで下校時刻を自動で連絡

部活動に関すること

項目

- ◆ 部活動の過密スケジュールの緩和
- ◆ 活動指針の再検討
- ◆ 部活動の指導支援体制の強化
- ◆ 部活動のあり方・問題に関する情報の共有化

内容

- ・ 顧問において個々の生徒の練習時間を把握できるような措置を執るべき
- ・ 公欠してまでの訪問演奏はできるだけ避ける
- ・ 原則としてガイドライン等通りの活動を行うことを明確にし、活動指針を修正すべき
- ・ 指導支援体制の強化も考えることで部活動の閉鎖性という問題の解決に繋がられる
- ・ 部内部で問題の検討の機会を設けるような取り組みが必要
- ・ 学校組織全体で情報を共有し、解決を図る体制を構築すべき

課題

- ・ （自主練を含めた）個々の生徒の練習時間を管理できていなかった
- ・ 学業と部活動のバランスが崩れていた
- ・ 部活動ガイドライン等から大きく逸脱した活動内容となっていた
- ・ 部活動に対する指導支援や学校内における情報共有体制が築けていなかった

方向性及び具体の取り組み（案）

部活動全般の見直し・改善を進める

速やかに実施 or 実施済み

- ・ 各部活の月間スケジュールを市教委に提出
- ・ 吹奏楽部の平日訪問演奏の見直し
- ・ 練習後の生徒下校確認の徹底、保護者への連絡
- ・ 定期試験前の学習機会確保（学習優先）
- ・ 進路決定機会の尊重の徹底
- ・ 事故予防、危機管理に関する研修実施（含 保護者対応）

検討に一定の時間を要する取り組み

- ・ 学校の「部活動の活動方針」を再作成（具体的な数値入り）
- ・ 部活動や地域連携を担当する副校長の新規配置
- ・ 効率的な指導を市内で研究・共有する検討会の設置

② 柏市に対する提言

項目

- ◆ 部活動の改善についての協力 ◆ 吹奏楽部の柏市内の位置付け ◆ 学校生活アンケートの取り扱い等
- ◆ 生徒の自殺予防のための更なる取り組み ◆ 条例等の整備

内容

- ・ 市教委や市立柏高校だけでなく、柏市全体の問題として検討
- ・ 訪問演奏は縮減されるべき、卒業生等の組織によるイベント演奏
- ・ 第三者委員会を条例に定めるか、いじめ防止対策推進法上の調査検証委員会に付託して運用するか明確にすべき

課題

- ・ （小中学校を含め）部活動ガイドラインに沿った運用に見直すべき
- ・ 吹奏楽の訪問演奏に対する負担や影響への認識が不足していた
- ・ 本件のような事案が発生した際に必要となる第三者委員会等が未整備だった

方向性及び具体の取り組み（案）

学校支援体制の改善を進める

速やかに実施 or 実施済み

- ・ 市教委の3課に市柏担当者を配置
- ・ 条例の改正

- （柏市いじめ重大事態実態調査検証委員会の位置づけ，市長による再調査のための附属機関の設置）
- ・ 「柏市自殺予防対策連絡会議」「柏市いじめ問題対策連絡協議会」との連携（再掲）

一定の時間を要する取り組み

- ・ 市立柏高校における新規・拡大事業の予算化

③ 全国への提言・その他

提言

- ◆ 自殺防止に向けた取り組みの継続 ◆ 当該生徒の死についての気落ちの共有について
- ◆ 部活動ガイドラインの徹底 ◆ 新型コロナウイルス感染症に関する対応について

意見

- ・ 子どもへの教育だけでなく大人も意識や行動を変容すべき
- ・ 部活動ガイドラインを日本全体において遵守徹底
- ・ 気持ちを共有する機会を設ける
- ・ 予防対策等考慮した上で対応